

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	深川・留萌自動車道(一般国道233号) 沼田幌糠道路
事業主体	北海道開発局

●事業の効果や必要性の評価に対応する事後評価項目

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input type="radio"/> 並行区間等の年間渋滞損失時間(人・時間)及び削減率	
		<input type="radio"/> 並行区間等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	
		<input checked="" type="radio"/> 当該路線の整備によるバス路線の利便性向上の状況	利便性向上が見込まれるバス路線：札幌市～羽幌町・豊富町間 5往復/日 乗車人員：55.5千人(H16)⇒64.3千人(H22) 所要時間の短縮(札幌市～豊富町間時刻表)：5時間35分(整備前)⇒5時間10分(整備後) バス会社の意見：所要時間の短縮及び定時性が確保されたことで、バス利用者の利便性向上につながっています。
		<input type="radio"/> 新幹線駅へのアクセス向上の状況	
		<input type="radio"/> 空港法による空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	
	物流効率化の支援	<input checked="" type="radio"/> 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上の状況	対象港湾：留萌港 品目：石油製品約50万t、石炭約30万t(H21移輸入貨物量) 主な輸送先：旭川市等上川方面、深川市等空知方面 留萌港～旭川市：整備前111分⇒現在100分(11分短縮)
		<input checked="" type="radio"/> 農林水産業を主体とする地域から大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上の状況	農林水産業を主体とする地域：留萌管内 主な品目と出荷先等： 【えび類】管内漁協から新千歳空港、新千歳空港から本州(関東等) 【ほたて半成貝】管内漁協から函館港、函館港から宮城県 【乳製品】幌延町乳業工場から苫小牧港等、苫小牧港等から本州
	都市の再生	<input type="radio"/> 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	
		<input type="radio"/> 三大都市圏の環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	
		<input type="radio"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	
国土・地域ネットワークの構築	<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	対象となる拠点都市：留萌市、旭川市、深川市、札幌市	
	<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
	<input type="radio"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況		
個性ある地域の形成	<input type="radio"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果		
	<input checked="" type="radio"/> IC等から主要な観光地へのアクセス向上による効果	アクセス向上が図られた観光地：ゴールデンビーチるもい、黄金岬等 留萌管内の観光入込み客数：約145万人(H21)	
	<input type="radio"/> 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果		

2. 暮らし	安全で安心できるくらしの確保	● 三次医療施設へのアクセス向上の状況	対象となる三次医療施設：旭川赤十字病院、市立札幌病院等 アクセス向上が見込まれる自治体名：留萌市など
3. 安全	安全な生活環境の確保	● 並行区間等における交通量の減少による安全性向上の状況	対象区間の現道自動車交通量（4,980台/日⇒3,631台/日） / 沼田幌糠道路 自動車交通量（3,815台/日） 対象区間における現道死傷事故率（83.7件/億台キロ⇒0.0件/億台キロ） 沼田幌糠道路 死傷事故率（0.0件/億台キロ）
	災害への備え	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	計画名：北海道緊急輸送道路ネットワーク計画 位置付け：第一次緊急輸送道路
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能	
	<input type="checkbox"/> 並行区間等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間の代替路線を形成		
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量	CO ₂ 排出削減量：443（t-CO ₂ /年）
	生活環境の改善・保全	<input type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのNO2排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 並行区間等における自動車からのSPM排出削減率	
		<input type="checkbox"/> 並行区間等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに関する効果	
	その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拮・BP・その他の別
深川・留萌自動車道 (一般国道233号)	沼田幌糠道路	L=16.0km	高規格B	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
3,600~3,800	2	北海道開発局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成 23 年度		
単純合計	317億円	152億円	470億円
基準年における 現在価値 (C)	427億円	80億円	507億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成 23 年度			
供用年	平成 19 年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	4.0億円	1.7億円	25億円
基準年における 現在価値 (B)	457億円	95億円	40億円	593億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.2
経済的純現在価値(B-C)	86億円
経済的内部収益率(EIRR)	4.8%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化(事業全体)

様式-3①

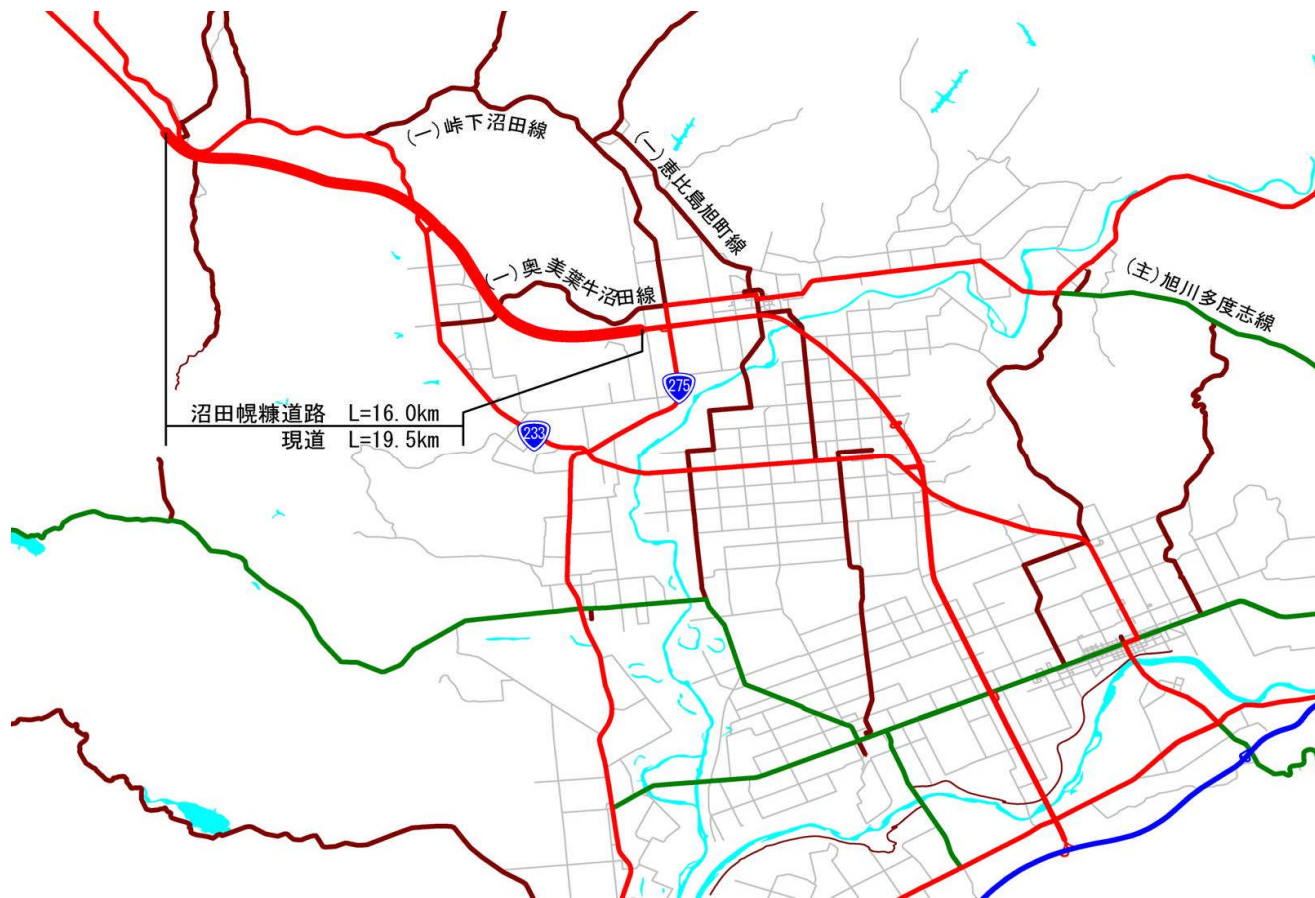
事業名:沼田幌糠道路

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 16.0km	交通量	[台/日]	0	3,700	
	走行時間	[分]	0.0	13.6	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	9.32	
②主な周辺道路	現道(国道233号) 19.5km	交通量	[台/日]	4,800	2,200
		走行時間	[分]	33.3	31.8
		走行時間費用	[億円/年]	31.77	14.69
	国道275号: 7.1km	交通量	[台/日]	4,100	3,700
		走行時間	[分]	10.1	10.1
		走行時間費用	[億円/年]	7.66	7.07
	主)旭川多度志線 13.3km	交通量	[台/日]	2,700	2,400
		走行時間	[分]	21.8	21.7
		走行時間費用	[億円/年]	10.70	9.90
	一)峠下沼田線 12.2km	交通量	[台/日]	800	300
		走行時間	[分]	22.6	22.3
		走行時間費用	[億円/年]	3.20	1.01
	一)恵比島旭町線 5.2km	交通量	[台/日]	1,000	400
		走行時間	[分]	11.2	11.1
		走行時間費用	[億円/年]	2.16	0.92
一)奥美葉牛沼田線 6.7km	交通量	[台/日]	800	500	
	走行時間	[分]	11.6	11.5	
	走行時間費用	[億円/年]	1.90	1.03	
③その他道路合計 :25875.9km	走行時間費用	[億円/年]	23979.94	23976.39	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計:25955.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24037.33	24020.33	17.00

事業名:沼田幌糠道路

【 図面(①、②)に該当する道路を明示すること】



費用便益分析の条件

事業名：沼田幌糠道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成23年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソトリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通容量未滿・以上の路線が混在した配分結果となっているため、便益算出に おいては速度差の生ずる加重平均速度を用いた		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
その他()	<input type="checkbox"/>		

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通の考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数	(121) 日
採用した冬期日数の考え方を記載				
北海道における気温や初雪、積雪状況等の出現状況や冬期通行規制期間を踏まえ、4ヶ月と設定				
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
Vmax、Vminについて低減				
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:深川・留萌自動車道(一般国道233号)沼田幌糠道路

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				単価(億円)		延長(km)	
				0.20	16.0	単純価値(億円)	3.20
-15年目	H 4	2.1068	103.40	0.58	1.07	0.00	0.00
-14年目	H 5	2.0258	103.70	1.13	1.99	0.00	0.00
-13年目	H 6	1.9479	103.60	1.96	3.32	0.00	0.00
-12年目	H 7	1.8730	103.00	5.61	9.18	0.00	0.00
-11年目	H 8	1.8009	102.40	6.01	9.51	0.00	0.00
-10年目	H 9	1.7317	103.40	14.50	21.86	0.00	0.00
-9年目	H 10	1.6651	102.80	32.06	46.74	0.00	0.00
-8年目	H 11	1.6010	101.30	29.39	41.81	0.00	0.00
-7年目	H 12	1.5395	99.70	35.01	48.66	0.00	0.00
-6年目	H 13	1.4802	98.40	40.19	54.41	0.00	0.00
-5年目	H 14	1.4233	96.60	34.85	46.21	0.00	0.00
-4年目	H 15	1.3686	95.40	25.20	32.54	0.00	0.00
-3年目	H 16	1.3159	94.40	33.38	41.88	0.00	0.00
-2年目	H 17	1.2653	93.20	29.15	35.62	0.00	0.00
-1年目	H 18	1.2167	92.50	28.22	33.41	0.00	0.00
供用開始年次	H 19	1.1699	91.70	0.00	0.00	3.05	3.50
1年目	H 20	1.1249	91.20	0.00	0.00	3.05	3.38
2年目	H 21	1.0816	90.00	0.00	0.00	3.05	3.30
3年目	H 22	1.0400	90.00	0.00	0.00	3.05	3.17
4年目	H 23	1.0000	90.00	0.00	0.00	3.05	3.05
5年目	H 24	0.9615	90.00	0.00	0.00	3.05	2.93
6年目	H 25	0.9246	90.00	0.00	0.00	3.05	2.82
7年目	H 26	0.8890	90.00	0.00	0.00	3.05	2.71
8年目	H 27	0.8548	90.00	0.00	0.00	3.05	2.61
9年目	H 28	0.8219	90.00	0.00	0.00	3.05	2.50
10年目	H 29	0.7903	90.00	0.00	0.00	3.05	2.41
11年目	H 30	0.7599	90.00	0.00	0.00	3.05	2.32
12年目	H 31	0.7307	90.00	0.00	0.00	3.05	2.23
13年目	H 32	0.7026	90.00	0.00	0.00	3.05	2.14
14年目	H 33	0.6756	90.00	0.00	0.00	3.05	2.06
15年目	H 34	0.6496	90.00	0.00	0.00	3.05	1.98
16年目	H 35	0.6246	90.00	0.00	0.00	3.05	1.90
17年目	H 36	0.6006	90.00	0.00	0.00	3.05	1.83
18年目	H 37	0.5775	90.00	0.00	0.00	3.05	1.76
19年目	H 38	0.5553	90.00	0.00	0.00	3.05	1.69
20年目	H 39	0.5339	90.00	0.00	0.00	3.05	1.63
21年目	H 40	0.5134	90.00	0.00	0.00	3.05	1.56
22年目	H 41	0.4936	90.00	0.00	0.00	3.05	1.50
23年目	H 42	0.4746	90.00	0.00	0.00	3.05	1.45
24年目	H 43	0.4564	90.00	0.00	0.00	3.05	1.39
25年目	H 44	0.4388	90.00	0.00	0.00	3.05	1.34
26年目	H 45	0.4220	90.00	0.00	0.00	3.05	1.29
27年目	H 46	0.4057	90.00	0.00	0.00	3.05	1.24
28年目	H 47	0.3901	90.00	0.00	0.00	3.05	1.19
29年目	H 48	0.3751	90.00	0.00	0.00	3.05	1.14
30年目	H 49	0.3607	90.00	0.00	0.00	3.05	1.10
31年目	H 50	0.3468	90.00	0.00	0.00	3.05	1.06
32年目	H 51	0.3335	90.00	0.00	0.00	3.05	1.02
33年目	H 52	0.3207	90.00	0.00	0.00	3.05	0.98
34年目	H 53	0.3083	90.00	0.00	0.00	3.05	0.94
35年目	H 54	0.2965	90.00	0.00	0.00	3.05	0.90
36年目	H 55	0.2851	90.00	0.00	0.00	3.05	0.87
37年目	H 56	0.2741	90.00	0.00	0.00	3.05	0.84
38年目	H 57	0.2636	90.00	0.00	0.00	3.05	0.80
39年目	H 58	0.2534	90.00	0.00	0.00	3.05	0.77
40年目	H 59	0.2437	90.00	0.00	0.00	3.05	0.74
41年目	H 60	0.2343	90.00	0.00	0.00	3.05	0.71
42年目	H 61	0.2253	90.00	0.00	0.00	3.05	0.69
43年目	H 62	0.2166	90.00	0.00	0.00	3.05	0.66
44年目	H 63	0.2083	90.00	0.00	0.00	3.05	0.63
45年目	H 64	0.2003	90.00	0.00	0.00	3.05	0.61
46年目	H 65	0.1926	90.00	0.00	0.00	3.05	0.59
47年目	H 66	0.1852	90.00	0.00	0.00	3.05	0.56
48年目	H 67	0.1780	90.00	0.00	0.00	3.05	0.54
49年目	H 68	0.1712	90.00	-5.12	-0.78	3.05	0.52
合計				312.14	427.42	152.38	79.54
単純事業費計				317.26		152.38	

注)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

